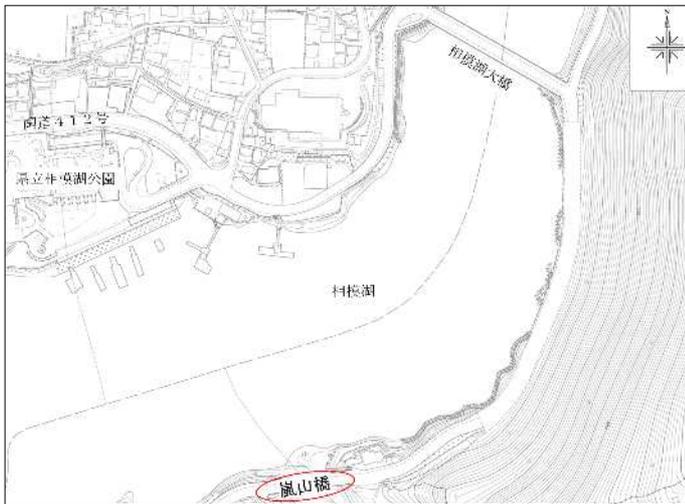


## 嵐山橋が土木学会選奨土木遺産に認定されました！

令和7年9月19日（金）に、相模湖沿いの国道412号に架けられている嵐山橋（あらしやまばし）が、公益社団法人土木学会が選奨する土木遺産に認定され、24日（水）に土木学会から公表されました。

嵐山橋は、昭和34年度に竣工した橋りょうで、国内で初めて張り出し架設工法で建設されたPC（プレストレスト・コンクリート）橋であり、その後のPC長大橋の礎となった貴重な土木構造物です。



位置図



現況写真

※土木遺産とは、土木遺産の顕彰を通じて歴史的土木構造物の保存に資することを目的として、平成12年に認定制度が設立されたもので、市内では、平成20年に小倉橋（緑区小倉地内）、平成22年に相模野基線（南区麻溝台4丁目地内）が認定されており、今回で3例目になります。

※認定状況につきましては、公益社団法人土木学会ホームページをご覧ください。

URL：[https://www.jsce.or.jp/contents/isan/files/2025\\_05.shtml](https://www.jsce.or.jp/contents/isan/files/2025_05.shtml)

※後日、県立相模湖公園内において認定式を開催する予定です。

問合せ先

道路計画課

直通電話 042-769-8261